



問合せ先

第二管区海上保安本部 海洋情報部

海洋調査課長 森 弘和

電話 022-363-0111 (内線 2530)

平成27年10月19日

第二管区海上保安本部

午後2時発表

被災した港湾（21海域）の水深測量が終わりました

第二管区海上保安本部では、震災後の海図の更新のため震災直後から太平洋側の被災した21海域（別紙1）の水深測量を行ってきました。このたび山田港の水深測量を終え、21海域全ての水深測量が終了しました。

被災した港湾では、地震による海底の沈下や堆積物の移動による水深の変化、津波による土砂・瓦礫等の海への流出により、海図に記載している航路や岸壁の水深など色々な情報が実状とは異なることになりました。

このため、第二管区海上保安本部では震災直後から太平洋側で刊行されている21海域の海図を現状に合わせるために、計画的な水深測量を実施してきました。

測量の結果、港湾及び周辺の詳細な海底の状況が明らかになり、結果を海図に反映させることで船舶の航行安全が確保されることとなります。（別紙2～4海底地形図参照）

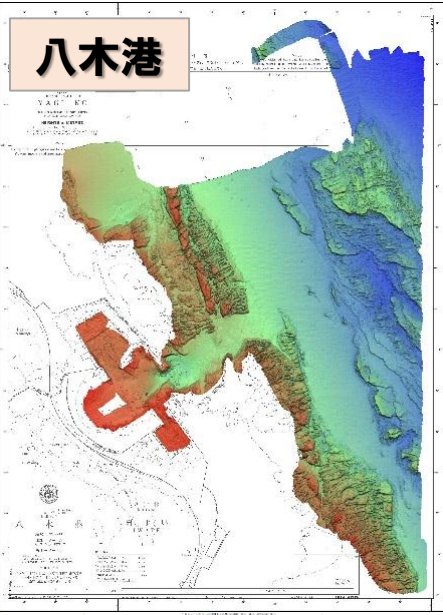
調査した21海域は、八戸港、久慈港、宮古港、大船渡港、気仙沼湾、石巻港、仙台塩釜港塩釜区、仙台塩釜港仙台区、相馬港、小名浜港、むつ小川原港、八木港、山田港、大槌港、釜石港、女川港、鮎川港、四倉港、久之浜港、江名港、中之作港です。

今後も港湾の復興工事等による変化を反映させるための測量や、震災後の地盤の隆起により水深が変化した海域では必要な水深測量を行い、引き続き海図の最新維持を行っていきます。

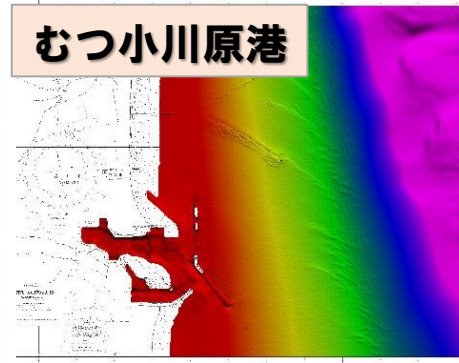
水深測量の対応を実施した被災港湾の一覧



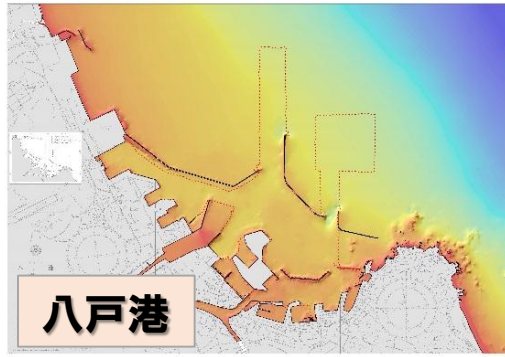
八木港



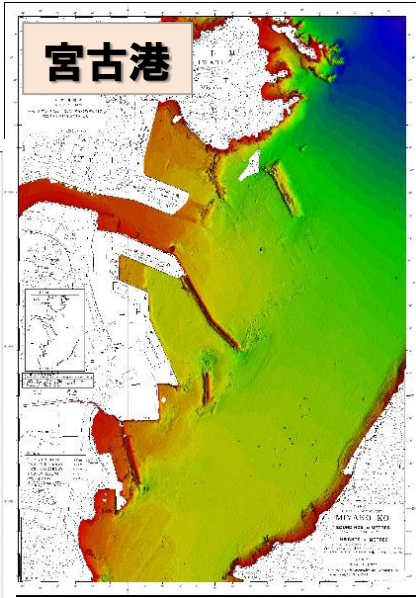
むつ小川原港



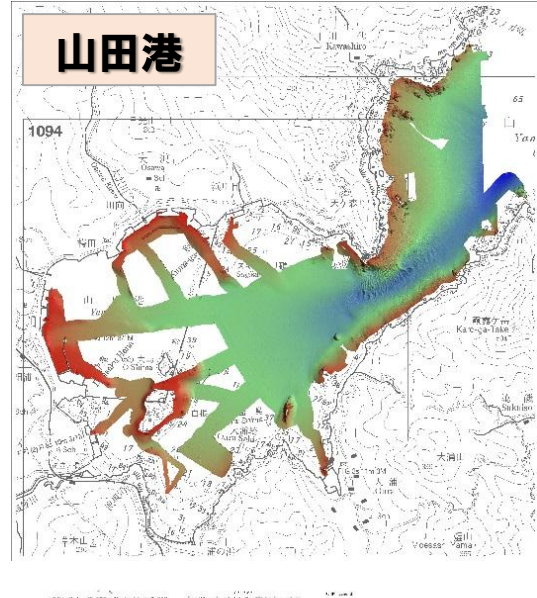
八戸港



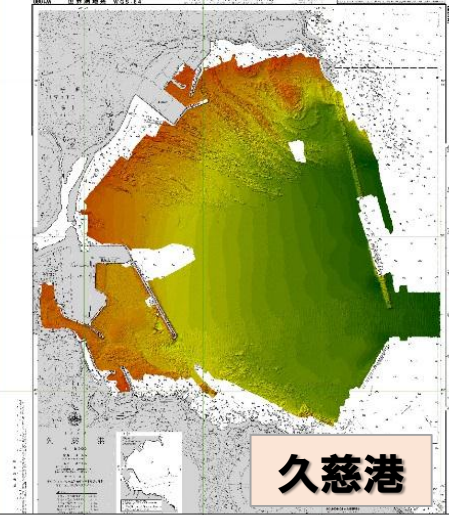
宮古港



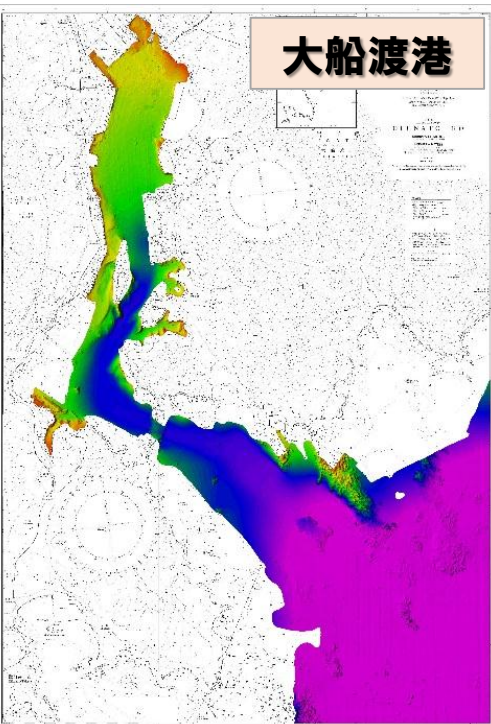
山田港



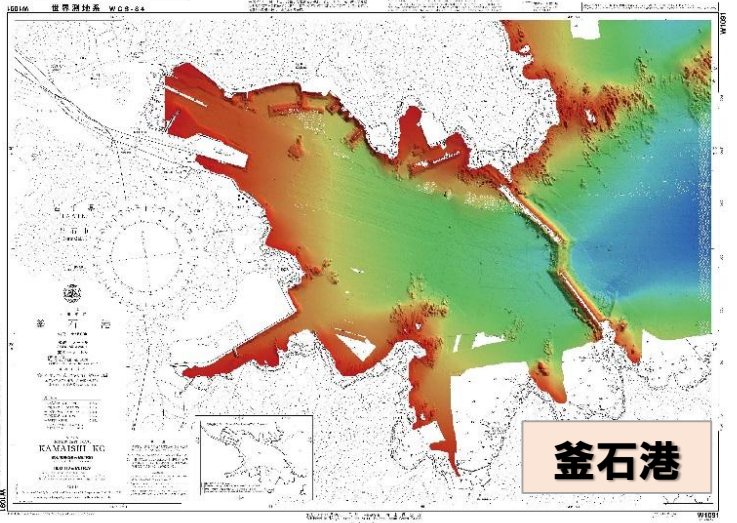
久慈港



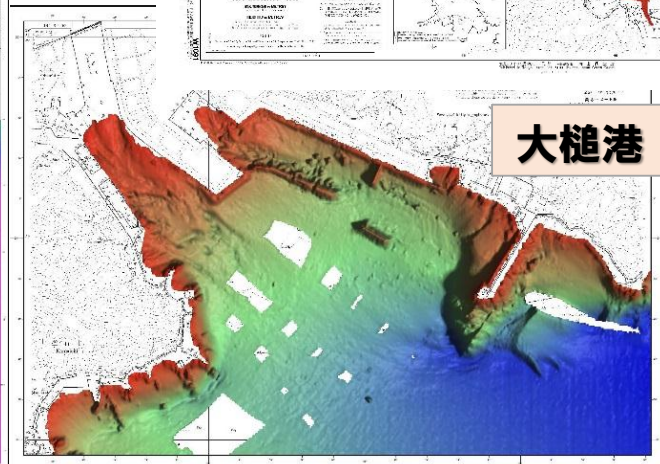
大船渡港

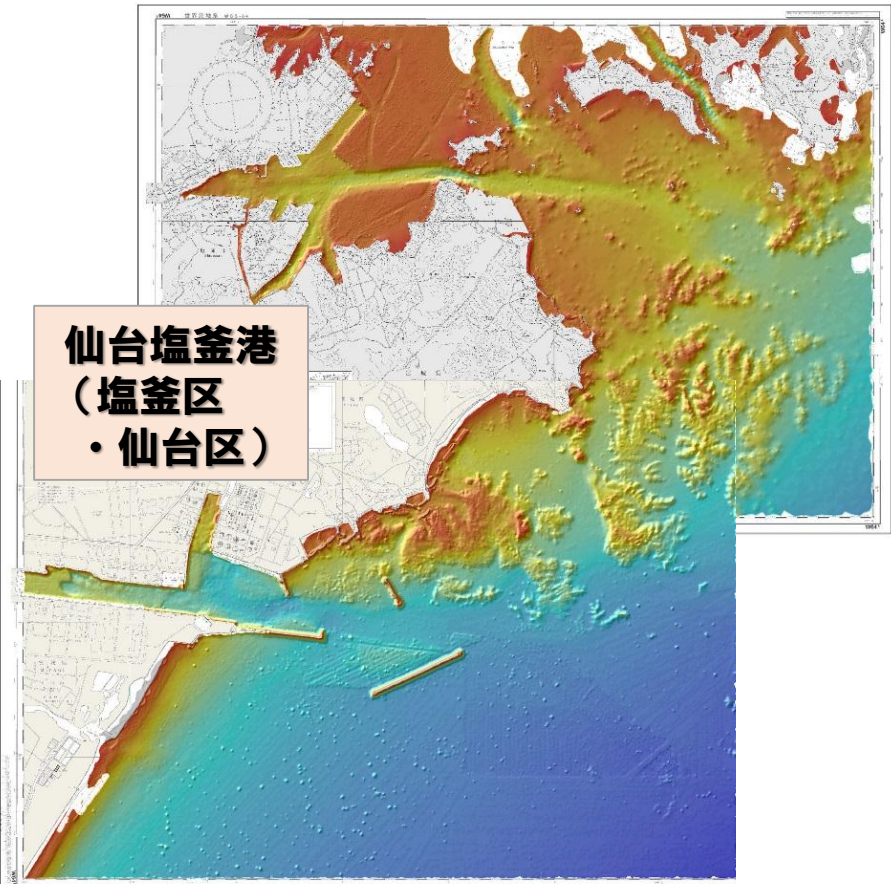
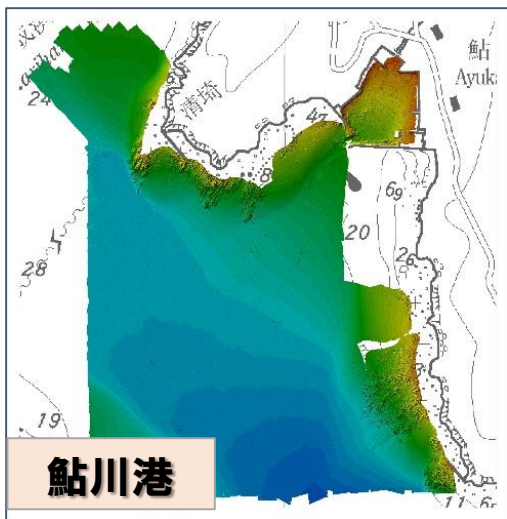
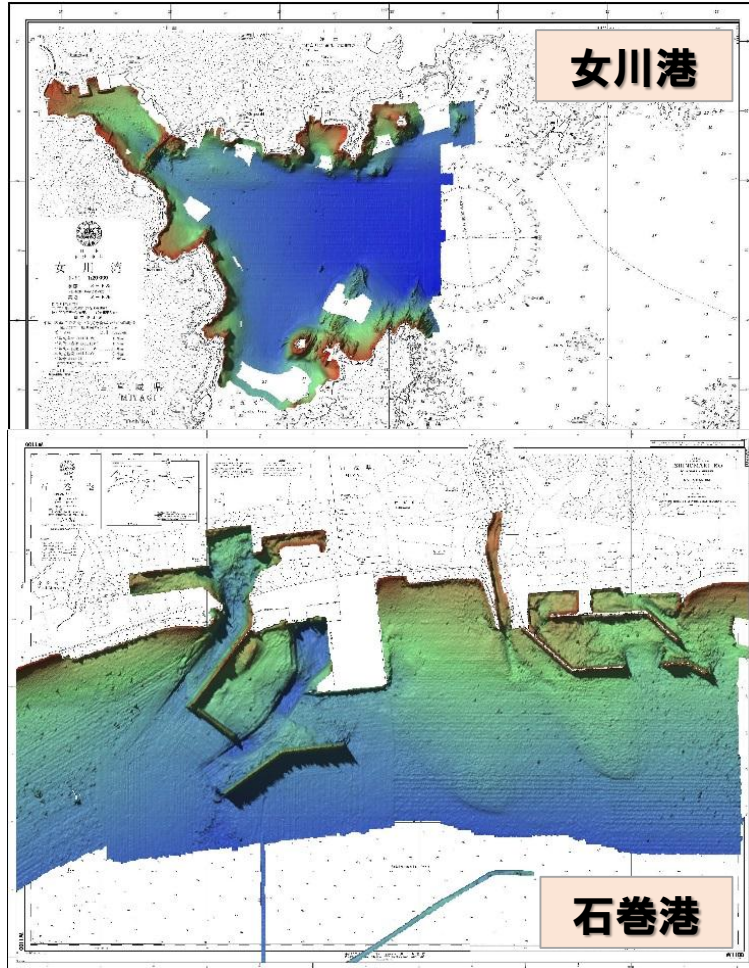
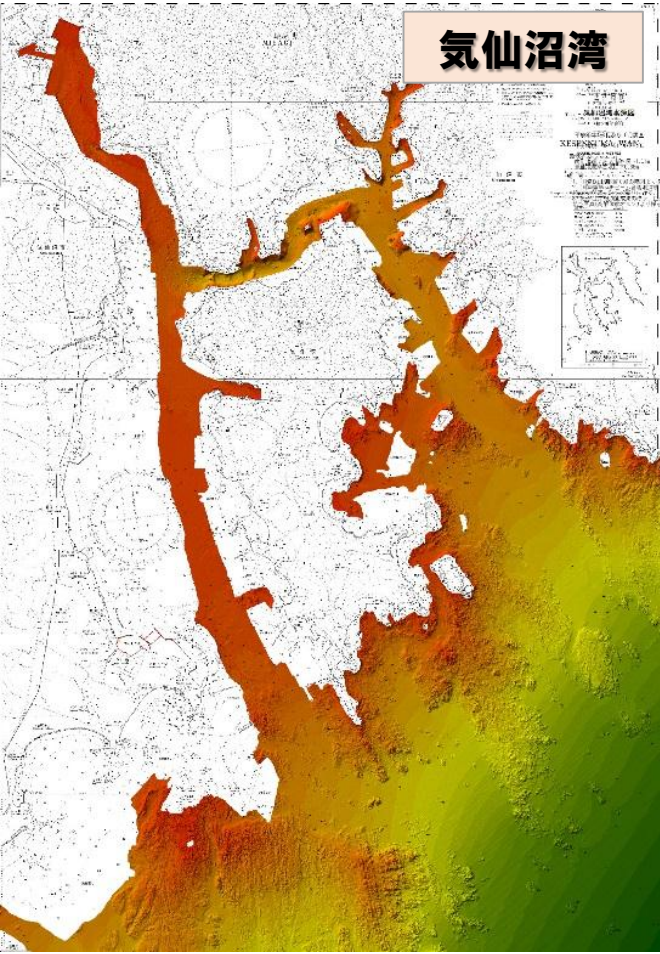


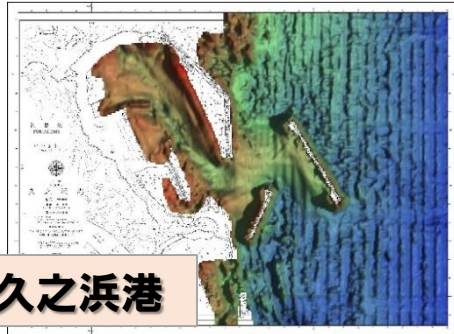
釜石港



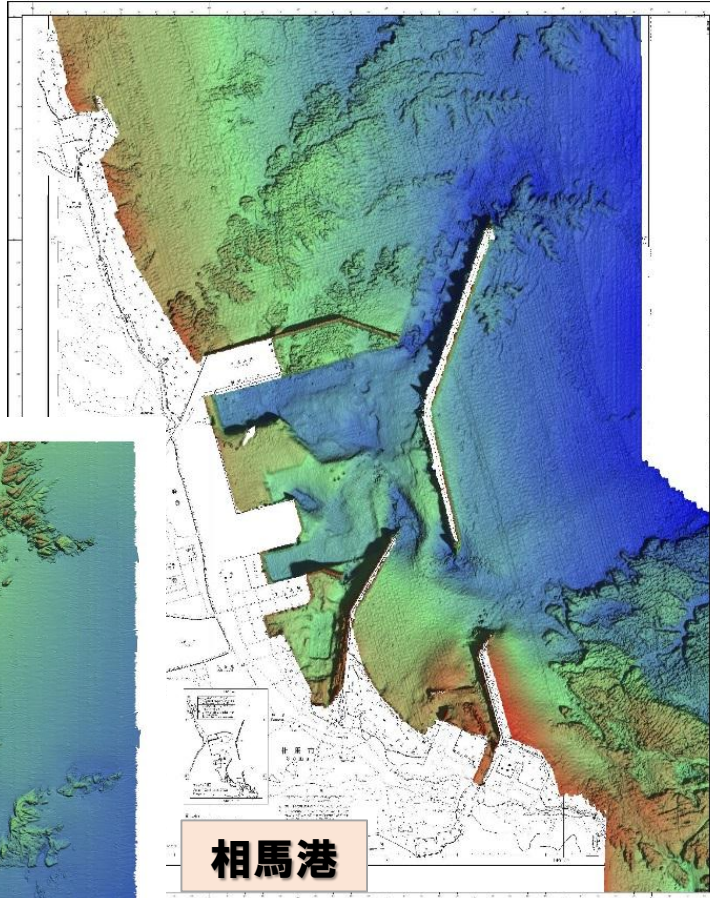
大槌港



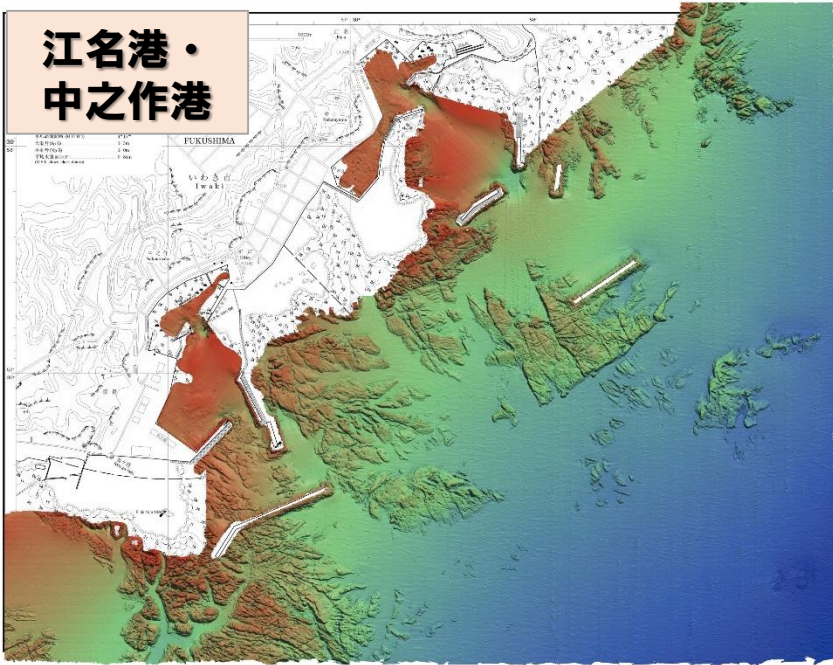




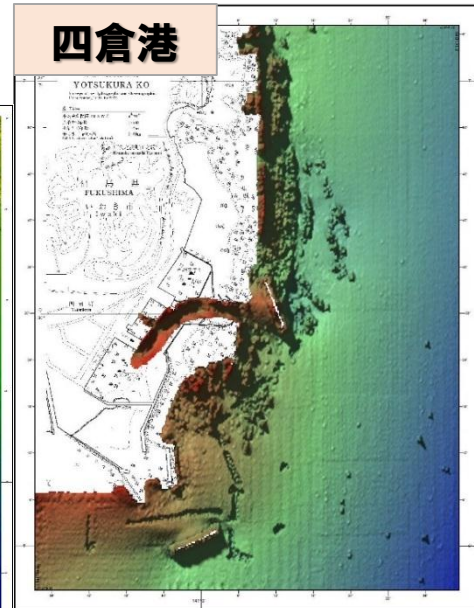
久之浜港



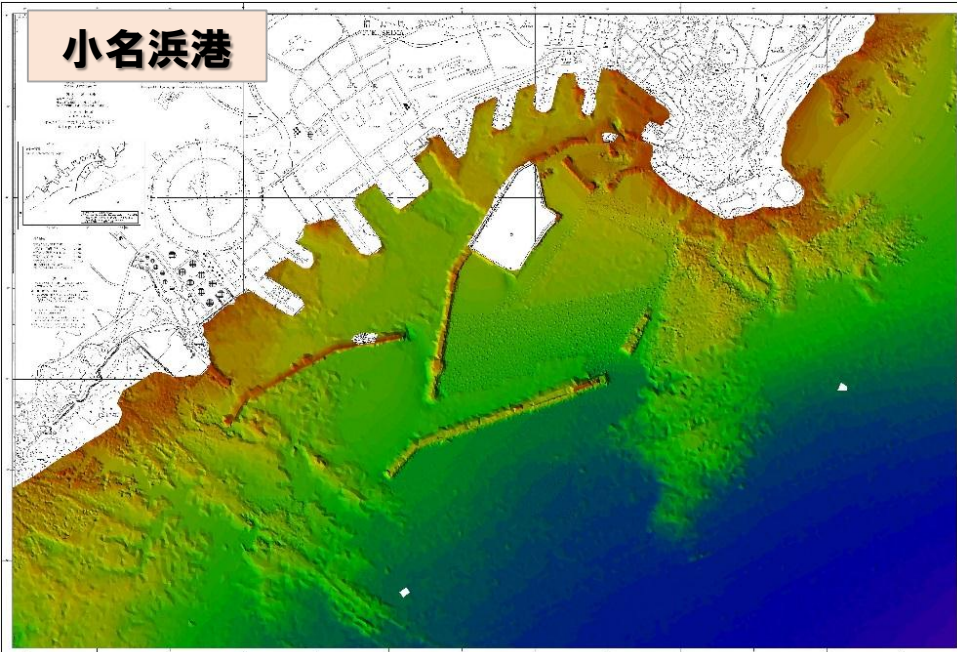
相馬港



江名港・
中之作港



四倉港



小名浜港